

会場地図は
こちらから

東大にねむる 加賀藩本郷邸と江戸の宴



日時：2025年3月9日（日）10:00～16:00
 場所：東京大学本郷キャンパス国際学術研究棟 文学部3大教室
 主催：東京大学大学院人文社会系研究科・文学部
 共催：東京大学埋蔵文化財調査室
 後援：文京区
 交通：東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅
 参加：無料
 問い合わせ：東京大学埋蔵文化財調査室 maibun@aru.u-tokyo.ac.jp



シンポジウム

東大にねむる加賀藩本郷邸と江戸の宴

赤門により加賀藩本郷邸の跡地であったことが広く知られている東京大学本郷キャンパスでは、発掘調査によって魅力的な江戸時代の遺構や遺物が発見されています。

これらの発掘調査を行なっている埋蔵文化財調査室は、本格的な調査が始まった1983年から数えて40年目の節目にあたります。そこで埋蔵文化財調査室と緊密な関係にある人文社会系研究科・文学部は、文京区の歴史文化に関わる題材をテーマに、公開シンポジウムを開催いたします。

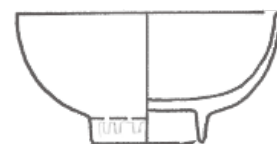
プログラム



- 東京大学本郷キャンパスの発掘調査とその研究成果 10:00～
大成可乃 (埋蔵文化財調査室) 「発見された遺構と絵図に描かれた施設」
湯沢 丈 (埋蔵文化財調査室) 「加賀藩本郷邸への将軍御成」
谷川章雄 (早稲田大学名誉教授) 「近世考古学研究と大学埋蔵文化財調査室」

- 江戸の宴 13:00～
堀内秀樹 (次世代人文学開発センター) 「殿の宴会、家臣の宴会」
加藤元信 (文京ふるさと歴史館) 「江戸の宴 駒込の本店・高崎屋」
佐藤至子 (国文学研究室) 「江戸の戯作と双六に描かれた宴」

- 登壇者によるトークセッション 15:15～
モデレーター : 芳賀京子 (次世代人文学開発センター)



登壇者プロフィール

谷川 章雄 (たにがわ あきお)

早稲田大学名誉教授

早稲田大学教育学部助手、所沢校地文化財調査室助手、人間科学部専任講師、助教授、教授を経て、名誉教授。主な研究業績は『六道銭の考古学』、「考古学からみた近世都市江戸」など。

加藤 元信 (かとう もとのぶ)

文京区文化資源担当室 (文京ふるさと歴史館)

佐賀市教育委員会勤務を経て、文京区教育委員会に奉職。埋蔵文化財調査業務や文化財の調査・指定等に従事。現在は文化資源担当室に異動し、学芸主査として展示業務や市民向け講座などを担当。

大成 可乃 (おおなり かの)

東京大学埋蔵文化財調査室

専門は歴史考古学。1994年から東京大学構内遺跡の発掘調査に携わる。調査成果と藩邸絵図面などを対比し、加賀藩邸の様相の復元を試みている。

佐藤 至子 (さとう ゆきこ)

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部国文学研究室

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士 (文学)。日本近世文学専攻。著書に『山東京伝』(ミネルヴァ書房、2009年)、『幕末の合巻 江戸文学の終焉と転生』(岩波書店、2024年) など。

湯沢 丈 (ゆざわ たけし)

東京大学埋蔵文化財調査室

出土土器・陶磁器を用いて、戦国時代から江戸時代の武家儀礼を研究する。文献史料の翻刻、出土資料と文献史料の比較も行う。その一方、出土陶磁器の生産地を求めて、窯跡を巡る。

堀内 秀樹 (ほりうち ひでき)

東京大学人文社会系研究科次世代人文学開発センター 教授

1984年から東京大学学内発掘調査に携わる。専門は近世考古学、特に加賀藩本郷邸を中心として、藩邸や遺構研究や遺跡から出土する陶磁器の流通・消費に関する研究を行う。